



市民の視点で  
事務事業を検証

平成22年度事業仕分け

6 / 19

とうほんせいそう  
東奔西走

6月19日(土)、市民会館で『平成22年度事業仕分け』を行いました。

これは、市が行う事務事業を市民の視点で議論し、その意見を取り入れながら見直しを図る事務事業の外部評価として、昨年からは試行しているものです。

この日は、コーディネーターと、連合町内会など市内で活動している団体からの推薦や公募の市民で構成する仕分け人の計10人が2分科会に分かれ、『広報等経費』や『国際交流推進事業』などの8事業について、担当者からの説明を受けた後、質疑応答を交わし事業のあり方を議論しました。

その後、コーディネーターと仕分け人は、別室(非公開)で事務事業を『廃止すべきもの』、『民間を活用すべきもの』、『内容などを見直し市が行うもの』、『現行どおり市が行うもの』に仕分けを行いました。

仕分けの結果は、今後、ホームページや広報のぼりべつなどでお知らせします。



▲和やかな雰囲気の中で、活発な意見が交わされました。

市民に親しまれる  
ホームページを

登別市ホームページモニター会議

7 / 1

7月1日(木)、地域情報センター『PiP』で『ホームページモニター会議』が行われました。

ホームページモニターは、市のホームページに市民の意見を取り入れることを目的に、昨年からは設けているもので、この日はモニター17人のうち5人が出席しました。

会議では、市がモニターの意見を受けて行ったホームページの改善内容を報告。その後、ホームページの将来的なあり方や見直しが必要な内容などについて、活発な意見交換が行われました。